



平成 27 年 3 月 19 日  
公益財団法人先端医療振興財団  
独立行政法人理化学研究所

「滲出型加齢黄斑変性に対する自家 iPS 細胞由来網膜色素上皮シート移植に関する臨床研究」  
における被験者募集について

現在、再生医療新法（再生医療等安全性確保法）に対応した臨床計画の見直しを行っており、被験者の募集は 3 月 19 日より見合わせております。新たな実施計画がまとまりましたらお知らせ致します。

2014 年 11 月に施行された再生医療新法では、本臨床研究が該当する第 1 種再生医療等の臨床研究においては、医療機関が申請・実施機関となり、細胞調製はその医療機関から委託を受けた細胞培養加工施設が行うことが示されています。本臨床研究では、理化学研究所と先端医療振興財団が共同で実施機関となっているため、新法に則る形で計画の見直しを進めています。新たな計画では実用化への円滑な移行を見据え、京都大学 iPS 細胞研究所と連携して他家 iPS 細胞の使用も検討していきます。

なお、2014 年 9 月に移植を行った第一症例目の被験者の経過は順調で、現在 1 年間の経過観察を継続しております。今後も当初の計画に沿って追跡調査を続けていきます。